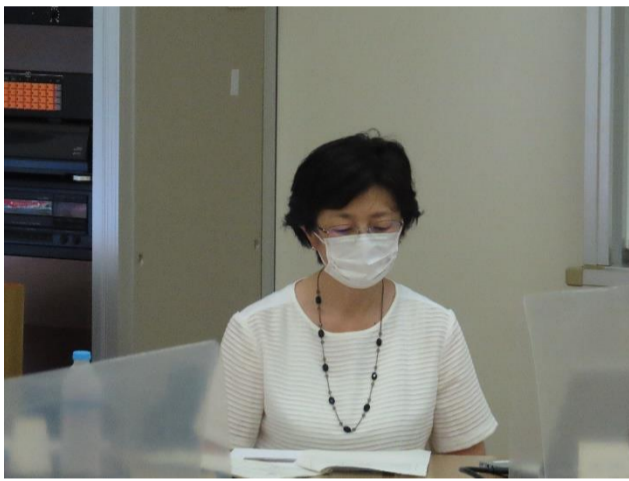


特別支援教育に関する研究 第2日

2021年7月30日

特別な教育的支援を必要とする 児童生徒の道徳教育の在り方

7月30日(金)第2回研究協議を実施しました。今回は、本研究にご指導・ご助言をいただいております 千葉大学教授の細川 かおり先生に来所していただき、「特別な教育的支援を必要とする児童生徒の道徳教育の在り方」の講義をしていただきました。研究協力員が道徳教育を進めるにあたり悩んでいる部分の質問等に丁寧にご助言いただきました。

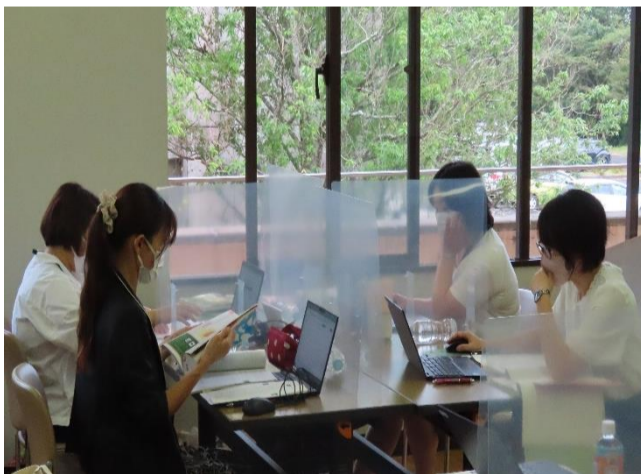


細川先生からの講義から

児童生徒一人一人が自分の問題として捉え、自分の身にひきつけて考えられる、「考える道徳」「議論する道徳」に転換するためには、「自分の行動と照らし合わせながら考えられる、実際的な生活経験の中で指導できる取組が必要である。」また、「言語能力と発達段階を丁寧に把握し、実態に応じた提示や支援が必要である。」と述べられていました。

校種ごとによる研究協議

【小学校部会】



小学校部会では、特別支援学級や通常の学級で行う道徳科の授業において、担当する児童が内容を理解し、自分事として捉えられるような教材や内容について意見を出し合いました。児童が自分の考えをもち、表現できるような道徳科の授業を目指していきたいと思えます。

【中学校部会】



中学校部会では、生徒が交流している通常の学級や特別支援学級における「考え、議論する道徳」の在り方等について、協議を行いました。協力員のこれまでの道徳の取組や課題、子供の実態から、目指す生徒の姿に迫るための手立てについて議論を行いました。

【特別支援学校部会】



特別支援学校部会では、「多くの特別支援学校で参考となるために」をキーワードに、協力員が様々なアイデアを出し合いながら、体験的な活動を踏まえた道徳教育の在り方や準ずる教育課程における、「考え、議論する道徳」における、効果的な取組について議論を行いました。

第2回の研究協議の内容を基に、今後各学校において2回の授業研究を行い、授業実践の成果や課題を整理していきます。

